

# 「厄」「厄年」「厄除け」とは？

「厄」とは…わざわい・くるしみ・あやうい、これらを表す文字です。

「厄年」とは…平安時代から存在する風習です。病にかかり思わぬ災難に遭うことが多い年齢を「厄年」と呼んでいます。男女ともに精神的肉体的な変化がもたらす人生の節目で、留意して生活すべき年です。

男性の厄年	25歳	41歳	42歳	43歳	61歳	
女性の厄年	19歳	32歳	33歳	34歳	37歳	61歳

この他、男女ともに13歳の例もあります。(いずれも数え年)

「数え年」とは…満年齢に1歳を加えた年齢です。誕生したときが1歳で、次の年の元日には2歳になります。

「厄除け」とは…節目である厄年に自らを見つめなおし、いかなる状況にも向かい合える心構えを持つことが必要ですが、災厄の種はどこに潜んでいるかはわかりません。そこで神仏の加護を願い御祈禱を受け、災厄を少しでも除けることを「厄除け」といいます。時期としては元日から節分までの間に御祈願されることをお勧めいたします。

「那古観音の厄除け」は…御本尊観音菩薩は、数多くの仏さまの中でも慈悲深く私たちの心に寄り添い、あらゆる災いから守ってくださる菩薩として知られております。那古寺では新年最初の観音縁日である1月18日を厄除けの日と定め、厄除け御護摩祈禱を行います。御祈禱をお受けになられた方には、お名前を書き入れお加持(祈念)したお札を授与いたします。このお札が1年間にわたって降りかかる災厄に対し、心の支えとなってお守りいたします。

## 那古寺で厄除

ご持参・ご郵送・お電話・ファクス・メール等で、1月16日(月)までにお申込みください。当日お申込みの場合、お札のお渡しは送付もしくは後日受取りとなる可能性があります。1月18日(水)以降のお申込みは、節分に祈禱いたします。

### 厄除祈願 申込書 1月18日(水) ●御祈禱時間 午前10時・12時・午後2時

●御祈禱料 3千円・5千円・1万円 (法要後お札をお持ち帰りください)

お申込み日		年	月	日	参拝予定日時	1月18日	時
お申込みの方	お名前						
	ご住所						
	電話番号・メールアドレスなど 連絡先						
御祈禱する方のお名前		生年月日		令和5年に迎える年齢		御祈禱料	

